

としょかんゆうびん

高学年向け 令和4年 冬
相生市立図書館 0791-23-5151

1・2・3月のこどもげきじょう&カレンダー

■ おやすみ

1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | * | * | * | * |

1/22 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『てぶくろ』

おはなし「うさぎとひきのもち争い」

1/29 (日) 11:00~11:30

人形劇

「おおきなかぶ」



2月

開館時間・・・あさ9時～よる7時

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| * | * | * | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | * | * | * | * |

2/11 (土) 11:00~11:30

トーンチャイム

「はるよ こい♪コンサート」

2/26 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『おおきなかぶ』

おはなし「こぶじいさま」



3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| * | * | * | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | * |

3/12 (日) 11:00~11:30

おんがくかい

「♪みんなでうたおう♪ハッピーコンサート」

3/19 (日) 10:30~11:30

えいが会

「三匹のこぶた」

3/26 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『かもさんおとおり』

おはなし「大工と鬼六」



2023年も

よろしくおねがいいたします

としょかんは、1月4日から かいかんしています。
今年も、家族やお友だちとたくさん本をよもう！

～まめちしき～

2023年の干支は・・・うさぎ(卯)ですね。

うさぎのかぞえかたを知っていますか？

ほかのどうぶつは「〇ひき」ですが、うさぎは

「1わ、2わ…」とかぞえるんです。

『数え方のえほん』

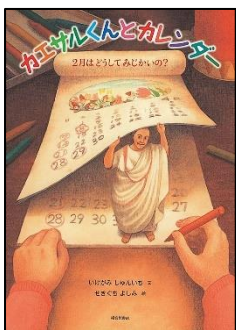
高野 紀子//作 あすなろ書房 81



おねがい

- ・体調の悪い人は、行事に参加できません。
- ・図書館に来るときは、検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。

★★★★★★★★ おすすめのえほん ★★★★★★★★★★



『カエサルくんとカレンダー 2月はどうしてみじかいの?』

いけがみ しゅんいち//文 せきぐち よしみ//絵 //福音館書店 P-1

みじかいことに理由なんてあるの?と気になった人はページをひらいてみてください。毎日使うカレンダー。30日までの月と31日までの月があって、2月は28日まで。さらに4年に一度は2月29日(なんていうか知ってる?)が出現するなんて、とっても不思議!カエサルくんが暦について教えてくれます。

『オレゴンの旅』ラスカル//文 ルイ・ジョス//絵 山田 兼士//訳 セーラー出版 P-5

ピエロのデュークは舞台が終わってもメイクと赤い鼻を取れません。長いあいだピエロでいたせいで、本当の自分がわからなくなってしまったのです。ある夜、彼は同じサーカス団のクマに、森まで連れて行ってほしいとたのまれます。ふたりはテントをぬけ出し、クマの故郷を目指します。街をすぎ川を渡り星空の下で夢を見て、ふたりは本当の自分を取りもどしていきます。

『夜のあいだに』テリー・ファン エリック・ファン//作 原田 勝//訳 ゴブリン書房 P



ある朝ウィリアムがまどの外を見ると、通りに町の人たちが集まっていました。外に出ると、大きな木がフクロウのかたちになりこまれていました。まるで魔法のようです。次の朝、今度は別の木がネコのかたちになっていました。ウサギ、インコ、ゾウ、新しい動物ができるたび、通りはゆかいになっていきます。そしてある日の夕暮れ、ウィリアムは通りではしごをかついだ男の人を見つけます。彼のあとをそっとついて行くと…。

せかいにはひろい! ちしきの本



『ミイラ学 エジプトのミイラ職人の秘密』

タマラ・パウワー//著・絵 こどもくらぶ//訳・編 今人舎 24

紀元前のエジプト。ミイラ職人の一家が王族イウヤの遺体をミイラにする様子をえがきます。ミイラと聞くと、こわい! 気持ち悪い! と思ってしまうかもしれませんが、職人たちのていねいな仕事をすると、死者への思いやりにみちた神聖な儀式であることがわかります。

『世界中からいただきます!』中山 茂大//文 阪口 克//写真 偕成社 38

2人組のおじさんが、世界中の「ふつうの家庭」におじゃまして、「ふつうのごはん」をいただきます。モンゴルでは羊のお肉、パプアニューギニアではブタの丸焼き、イエメンではでっかいパン。手で食べる? ごはんは一日何回? いただきます、ごちそうさまって言うの? 日本からのおみやげ、カップめんのお味はいかが? 楽しい写真もいっぱいの中のごはんの本。



おすすめのよみもの



『レディオワン』 斉藤 倫//著 クリハラ タカシ//画 光村図書出版 91-サ

「みなさん、こんばんわん。月曜夜9時〈レディオワン〉の時間です。」人気ラジオ番組のDJはいぬのジョン。という設定だけれど、ジョンがいぬだと信じているリスナーはいないだろう。でも実は、ジョンは本当にいぬなのだ。彼がしゃべれると知っているのは番組のスタッフ、ほんの数人だけ。ジョンとリスナーたちが作り上げる、心温まるラジオの時間。

『最後のドラゴン』 ガレット・ワイヤー//著 ケイティ・ハーネット//画

三辺 律子//訳 あすなろ書房 93-7

19世紀の半ば。ドラゴンのグリシャはドイツの森でずかみに暮らしていたが、ある時悪い魔法使いにティーポットにすがたを変えられてしまう。身動きも取れないまま持ち主を転々とし、魔法がとけたのは100年後だった。グリシャはマギーという少女と出会い、とらわれた仲間のドラゴンを助けようとするが…。



『クロードアの秘密』 E.L.カニグズバーグ//作 松永 ふみ子//訳 岩波書店 93-カ

クロードアはたいくつを理由に家出を計画する。2番目の弟ジェイミーを連れて、行先にえらんだのは、なんとメトロポリタン美術館！守衛の目をぬすみ、展示品のつぼに荷物をかくし、お姫様みたいなベッドでねむる生活はスリル満点。さらに姉弟はミケランジェロの作品とされる「天使の像」にひかれ、その作品にかくされたなぞを解こうとします。

『風がはこんだ物語』 ジル・ルイス//文 ジョー・ウィーヴァー//絵

さくま ゆみこ//訳 あすなろ書房 93-ル

戦争ですむ場所を失った人たちがのり合わせ、安全な土地を目指す小さなボート。無事にたどりつけるかもわからない不安の中、人々を勇気づけたのは、14才のラミだった。彼は唯一の持ち物のバイオリンで、日本でも有名なある物語をかなでる。自由の歌、風のような物語は、まっくらな海を漂う人々の希望の光となる。



『アリスとふたりのおかしい冒険』

ナターシャ・ファラント//作 ないとう ふみこ//訳 佐竹 美保//絵 徳間書店 93-7

空想好きなアリスは、家族のもとをはなれスコットランドの寄宿学校に転校してきました。古いお城を改造した学校には、おかしいきたりやかかった先生がいっぱい。アリスは探検家にあこがれるジェシーといたずらの天才ファーガスと出会います。個性的な3人は、集まると問題を起こしてばかり。スマホの電波をもとめて屋根にのぼったり、遠足でまいごになったり、カキをぬすみぐいして食中毒になったり…。いっしょに冒険をしている気持ちになります。



『マチルダは小さな大天才』

ロアルド・ダール//作 ケンティン・ブレイク//絵 宮下 嶺夫//訳 評論社 93-ダ

マチルダは4才で図書館中の本を読みつくしてしまうほどの天才でした。ところが、両親や学校の先生たちは彼女の才能をみとめません。マチルダのことをわかってくれる大人は、若い担任の先生だけでした。しかしその先生も学校内での立場は弱く、マチルダをかばったことでいじめられてしまいます。マチルダとクラスメイトたちは力ではなく、頭脳をつかって大人たちにはんげきします。



『キャプテンマークと銭湯と』 佐藤 いつ子//作 佐藤 真紀子//絵 KADOKAWA 91-サ

周斗はサッカークラブでキャプテンとして仲間を引っばってきた。しかしU-14の活動初日、コーチからキャプテンをほかのチームから来た大地に変えると言われてしまう。くやしきから大地やチームメイトにきつくあたってしまい、孤立する周斗。自分もサッカーも、きらいになってしまいそうな時、周斗は亡くなったおじいちゃんがすんでいた町を歩きたくなった。そこでむかしながらの銭湯「楽々湯」や、そこに通うお客さんたちと出会い…。



❄️❄️❄️❄️❄️ 冬に読みたい 可愛いおはなし ❄️❄️❄️❄️❄️

『遠野物語』 柳田 國男//原作 柏葉 幸子//編著 田中 六大//絵 偕成社 91

遠野は岩手県の地名です。山にかこまれたこの地方では、妖怪や神様、動物たちが登場する物語が代々伝えられています。子どものすがたをしているザシキワラシ。山を歩いていると出くわす動く家、マヨイガ。ちょっぴり気の弱い赤いカッパ。遠野のものたちは、不思議で怖いけれど、どこかユーモラス。雪深い山あいの景色を思いうかべながら読んでみてください。

『最初の舞踏会 ホラー短編集3』 平岡 敦//編・訳 岩波書店 95

大金持ちの男にとついだ若い娘。青色のぶきみなひげを生やした男は「ろうかの奥の小部屋にだけは近づかないように」と言い残し、仕事に出かけた。好奇心旺盛な娘は家中を探検し、言いつけを守らず奥の小部屋のかぎを開けてしまう。そこで見たものとは…。ペローの『青ひげ』をはじめ、フランスの怪談を集めた一冊。5～10ページほどの短編だけれど、しっかりこわいので気をつけて！



『さよなら、おばけ団地』

藤重 ヒカル//作 浜野 史子//画 福音館書店 91-7

結衣のすんでいる桜が谷団地はとても古く、「おばけ団地」とよばれている。子どものゆうれいや黒マントの怪人など、いくつものこわいうわさ話があるけれど、団地はもうすぐとりこわされることが決まっている。結衣たちはひっこしのじゅんびをしながら、少しずつあきらかになるうわさの真相を知るようになる。

